

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和2年度）2020

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	11	20	金	8:30	11:30	五味ヶ谷市民の森	11名
活動名称	藤小 野外学習支援					報告者：吉井 優	

1、活動目的

2016年から藤金市民の森にて藤小学校3年生の野外授業を行っています。昨年からは栄小からの依頼で5年生の野外授業を五味ヶ谷市民の森で行っています。学校の授業で市民の森の体験をすることで、一番身近な里山環境に触れることとなります。鶴ヶ島の市民の森を心の故郷として記憶してくれれば、将来大人になって、里山環境を守る人材になってくれることを願います。

2、活動内容ほか

8時半にスタッフ集合し、竹細工とハンモックの準備をします。9時少し過ぎに栄小の児童が五味ヶ谷市民の森に到着します。授業開始挨拶の後、1組は森の案内なめこと冥加の育ち方、南天の利用法、タラの芽の収穫方法、竹林の竹の種類と利用を内容とした森の案内を行います。森の案内の後、ハンモックに案内し、自由に遊ばします。2組は、竹林で竹を切り、広場のホワイトシートに運びます。その後お椀、お皿、貯金箱、けん玉などを、竹のこぎりを駆使して作成します。およそ1時間後1組と2組を入れ替え、両方のメニューを体験します。

3、 評価：

昨年同様、栄小児童から感謝状をいただきました。当然否定的な感想は書いていませんが、ほとんどの児童にとっては、素晴らしい体験として心に残ったようです。担任の先生も喜んでいただいたし、校長先生も様子を見に来てくれました。来年も栄小の野外授業が継続してくれることを期待します。

4、課題

藤小は3年生だが、栄小は5年生ということもあり、ハンモックにかかる負荷が大きくなった頻りに高さ調整が必要なため、スタッフ増加が望ましい。五味ヶ谷市民の森は、一番身近な小学校は杉下小学校です。杉下小でも同様な野外体験授業ができないか、杉下支えあい協議会と杉下小学校応援団からアプローチを続けています。来年は杉下小でも野外学習授業が出来ることを期待します。

<里山参加会員>

佐野、吉井、小沢弘、石川、大森、杉山、小嶋、小沼、横手、小澤、井上

<活動写真>

